

会 議 議 事 録 (抄)

会 議 名	2024年度専門学校東京テクニカルカレッジ 第2回インテリア系教育課程編成委員会
開 催 日 時	2024 年11月29日(月)15 時 40 分～17 時 00 分
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下1階 テラホール/9F 904教室
参 加 者	<外部委員:3名> (順不同・敬称略、役職は委員名簿参照) 小山 誠之 (株式会社パワープレイス プレイスデザインセンター教育・公共デザイン部 部長) 島田 祐輔 (apgm デザインアトリエ/法政大学大学院デザイン工学研究所 兼任講師) 鈴木 俊恵 (STeam/一般社団法人 日本インテリアコーディネーター協会 東京圏支部) <内部委員:1名> 高山 寿一郎(専門学校東京テクニカルカレッジ インテリア科科长 議長) 村田 涼 (// インテリア科主任 書記)
	<第二部 系別分科会>15:40～17:00 9 階 904 教室 1. 議長挨拶(高山) 2. 前回(系別分科会)議事録の確認(村田) 3. 留学生の増加傾向と学科状況について 4. 単位制導入と四期制への移行計画 5. 次回予定・閉会の挨拶
討議内容	3. 留学生の増加傾向と学科状況について 【高山】 インテリア科の出願状況(21 名、半数が留学生)が報告された。特に情報系学科での留学生増加が顕著で、IoT・AI 科ではほとんどが留学生という状況。留学生の国籍は中国、韓国、ネパール、ミャンマー、ロシアと多様化している。日本語能力の高い留学生の受け入れを積極的に進めている。 —留学生の就職状況と課題 【高山】 科の留学生の就職状況について、前年度は 4 名全員が就職。派遣会社経由での就職や施工管理職での採用が多い。特にミャンマーからの留学生は母国の情勢不安から日本での就職を希望する傾向が強い。 —在籍数確保の課題 【高山】 科の定員充足率について、現在 2 年生 9 名、1 年生 20 名で、定員 40 名(2 学年で 80 名)の半数以下。3 年連続で 50%を下回ると国からの支援金等に影響が出る可能性があり、在籍数増加が課題。 4. 単位制導入と四期制への移行計画 【高山】 2026 年度からの単位制導入に伴い、現行の五期制から四期制への移行を計画。各期 8 週間の授業期間を設定し、履修判定試験を含めた新しいカリキュラム構成を提案。夏季休暇を挟んで期が運営される新しい学期制度について説明。 —四期制移行の背景と課題 【高山】 2026 年からの四期制導入が決定しており。五期制から四期制への移行期間中は、一年生が四期制、二年生が五期制という並行運営となり、教員配置と時間割編成に大きな課題が存在。また単位制への移行に伴い、大学のスケジュール感に近づける必要性が指摘された。 —新カリキュラムの授業構成、具体的方針 【高山】 週1コマ全 6 回の授業を 2 つにまとめ、30 時間として構成する新しい授業形態を提案。授業シートの負担軽減のため、スタジオアワーを活用した確認時間の設定など、具体的な運用方法を説明。授業の統合や再編成について議論され、前半・後半での科目分割や、関連性のある授業の連携などが提案された。特に設計と CG など、科目間の連携を活かした効果的な授業構成の可能性が示された。 —インテリアコーディネーター資格対策 【高山】 現 2 年生 9 名中 4 名が学科試験合格、1 年生も 2 名が合格するなど、資格取得に成果。資格試験対策のためのカリキュラム配置について検討。 —一年次教育の改善提案 【鈴木委員】より、一年次早期にインテリア業界の実務紹介を行うことの重要性が指摘。学生のモチベーション向上と職業イメージ形成のため、インテリア実務の授業を早期に実施する提案がなされた。

	—教材・シラバスの刷新 【島田委員】より、四期制移行を機に教材やコマシラバスの刷新の必要性が提起された。新しい作品事例の導入を来年度から段階的に進めていくなど、具体的な改善案も示された。 —夏季休暇期間の課題 【島田委員】より、四期制における夏季休暇をまたぐ期間設定について懸念が示され、履修判定試験の前倒しや実習・プレゼンテーションの後ろ倒しなど、柔軟な対応の検討が提案された。 —インテリアコーディネーター試験対策の改善案 夏休み期間を活用した集中講座の実施や、試験直前の対策講座の導入が提案された。以前の長野研修で行っていたような過去問題の徹底的な演習など、より効果的な試験対策方法についても議論された。 —大学との同等性と将来展望 専門学校と大学の同等性について議論され、就職市場での評価や給与体系の課題が指摘された。また、起業支援やインキュベーションセンターの設置など、新たなキャリアパスの可能性も示唆された。 5. 次回予定・閉会の挨拶 【高山】 次回の委員会は 3 月 4 日火曜日に開催予定。また 3 月 8 日土曜日には卒業研究・卒業制作の発表会が予定されている。
--	---